

時	1	2	3	4	5	6	7	8
目標	<p>【知識及び技能】 かかえ込み前回りの行い方を知るとともに、かかえ込み前まわりに十分取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したりすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 かかえ込み前回りの練習を工夫するとともに、考えたことを友だちに伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 かかえ込み前回りに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p>							
コア技術	<p>① 脇を閉めて肘を鉄棒に固定し、両手で太腿を持っている。</p> <p>② ブランコのように体と膝の曲げ伸ばしで勢いをつけて回っている。</p>							
めあて	学習の進め方を知り、学習のめあてを持つ。	足の曲げ伸ばしで、体を大きく振ろう。	かかえ込み前回りのポイントを考えよう。	足振りで勢いをつけ、頭を鉄棒の上まで上げよう。	足振りとアゴの上下で勢いをつけ、頭を鉄棒の上まで上げよう。	友だちがうまくなるポイントを伝えよう。	自分に合った場を考えて、練習しよう。	友だちのいいところを見つけよう。
指導内容	<p>1. 準備運動 (加茂小体操)</p> <p>2. かかえ込み回りの姿勢の確認</p> <p>(1) ふとんほし</p> <p>※ 鉄棒は腰骨に当たると痛くないので、児童には「おへその下を掛ける」と伝えるとよい。</p> <p>※ 緩衝材を使用することで児童に安心感を与えることができるので毎回準備しておく。</p>  <p>(2) ダルマの姿勢</p>  <p>※ 脇をしめて、膝の後ろを持つ。地面に座り、グループの他者が背中を押しても倒れないようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>かかわりあい</b></p> <p><b>補助</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技を行う児童と反対側に立ち、「まげて～、のばして～」のリズムに合わせて、足振りを手伝う。</li> <li>・脇しめ、肘ロックができていないかを確認する。</li> </ul> <p><b>声かけ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「わきしめ、ひじロック」</li> <li>② 足振りに合わせて「まげて～、のばして～」と口伴奏をする。</li> </ol> </div> <p>3. 学習のまとめ</p> <p>4. 振り返り</p>	<p>1. 準備運動 (加茂小体操)</p> <p>2. かかえ込み前回りのポイントの発見</p> <p>(1) 手本や動画を見ながらポイントを考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 脇しめ、肘ロック</li> <li>② ブランコ振り (ブランコをこぐときのように膝の曲げ伸ばしをする。)</li> </ol> <p>(2) ダルマ振り (膝の伸ばし曲げ)</p>  <p>※ 脇をしめて、膝の後ろを持つ。地面に座り、グループの他者が背中を押しても倒れないようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>かかわりあい</b></p> <p><b>補助</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技を行う児童と反対側に立ち、「まげて～、のばして～」のリズムに合わせて、足振りを手伝う。</li> <li>・脇しめ、肘ロックができていないかを確認する。</li> </ul> <p><b>声かけ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>③ 「わきしめ、ひじロック」</li> <li>④ 足振りに合わせて「まげて～、のばして～」と口伴奏をする。</li> </ol> </div> <p>3. 学習のまとめ</p> <p>4. 振り返り</p>	<p>1. 準備運動 (加茂小体操)</p> <p>2. かかえ込み前回りのポイントの発見</p> <p>(1) ダルマ振り (膝の伸ばし曲げ)</p>   <p>※ 脇をしめて、膝の後ろを持つ。地面に座り、グループの他者が背中を押しても倒れないようにする。</p> <p>(2) お手伝いかかえ込み前回り</p> <p>お手伝いのしかたを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>かかわりあい</b></p> <p><b>補助 (3人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助①…技を行う児童と同じ側に立ち、背中を持ち上げる。</li> <li>補助②…技を行う児童と反対側に立ち、背中を持ち上げる。</li> <li>補助③…技を行う児童の後ろに立ち、声掛けをする。</li> </ul> <p>※揺れに合わせて「いち、にー、のー、さんっ」で持ち上げて回転を助ける。</p> <p><b>声かけ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「わきしめ、ひじロック」(だるまの姿勢)</li> <li>② 「まげて～のばして～」(足振り)</li> <li>③ 「遠く！」(前に倒れる時)</li> </ol> </div> <p>3. 学習のまとめ</p> <p>4. 振り返り</p>	<p>1. 準備運動 (加茂小体操)</p> <p>2. かかえ込み前回りのポイントの発見</p> <p>(1) ダルマ振り (膝の伸ばし曲げ)</p> <p>(2) お手伝いかかえ込み前回り</p> <p>お手伝いのしかたを確認する。</p>  <p>4. 発表会</p> <p>VTRの確認</p> <p>技の出来映えについて助言し合う。</p> <p>5. 学習のまとめ</p> <p>6. 振り返り</p>				
指導上の留意点	<p>「脇を閉め、鉄棒に肘を着け、左右の手で左右の太腿を持つ」ことを、実際に声に出して言うようにして、正しい姿勢を確認させる。</p> <p>かかえ込み前回りという、体を縮めたまま回るイメージがあるが、実際には、体と膝の曲げ伸ばしで勢いをつけて回っている。特に、膝の曲げ伸ばしが重要で、ブランコをこぐときのように、膝を曲げたり伸ばしたりすることで勢いがつき、体を回転させることができる。</p> <p>補助は必ず近くで待機し、落ちそうになったときには服などを掴んで、落下の衝撃を軽減させるよう、安全面にも十分注意させる。</p> <p>○ つまずき</p> <p>だるまの姿勢が崩れる。(脇に鉄棒が入り込んでしまつて回れなくなる)</p> <p>→脇をしっかりとしめ、肘を鉄棒につけさせる。</p>							
知		② 観察・ICT					② 観察・ICT	① 観察
思			① 観察			① 観察		② 観察
態	④ 観察	③ 観察		① 観察・カード	② 観察・カード			

単元の評価規準

【かかえ込み前回り（鉄棒運動）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① かかえ込み前回りの行い方について、言ったり書いたりしている。 ② 支持の姿勢から腰を曲げながら上体を前方へ倒し、手で足を抱え込んで回転することができる。	① 上手くできたところやできなかったところを、学習カードや掲示物などの連続図に目印や色をつけたり、シールを貼ったりして、自己の能力に適した課題を見付けている。 ② 友だちのよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友だちに伝えたり書いたりしている。	① かかえ込み前回りに進んで取り組もうとしている。 ② 場の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ③ 場の準備や片付けを、友だちと一緒にしようとしている。 ④ 場の安全に気を付けている。

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

(1) 知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① かかえ込み前回りの行い方について、言ったり書いたりしている。	・ かかえ込み前回りの留意点を友だちや教師に詳しく伝えたり、カードに書いたりすることができる。
② 支持の姿勢から腰を曲げながら上体を前方へ倒し、手で足を抱え込んで回転することができる。	・ かかえ込み前回りを安定して行うことができる。(何度も繰り返しできる)

(2) 思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 上手くできたところやできなかったところを、学習カードや掲示物などの連続図に目印や色をつけたり、シールを貼ったりして、自己の能力に適した課題を見付けている。	・ かかえ込み前回りを習得するためにはどのような動きが必要かを考え、課題に応じて試行錯誤しながら取り組んでいる。
② 友だちのよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友だちに伝えたり書いたりしている。	・ 手の着く位置や着地する位置、目線が向く場所などに目印をして、技のできばえを振り返り、自己の動きをよりよくする行い方を選んでいる。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① かかえ込み前回りに進んで取り組もうとしている。	・ かかえ込み前回りへの習得に向け多様な行い方を進んで試している。
② 場の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。	・ 自分が楽しむだけでなく、グループの友だちを励ましたり、応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを、友だちと一緒にしようとしている。	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 場の安全に気を付けている。	・ 自分のことだけでなく、周囲の安全にも気を配っている。

※ 学習指導要領解説の技の例示とは異なった学年で授業を計画しています。その理由は以下の2点です。

- ① 器械運動の技を系統的・段階的に習得するため。
- ② 器械運動の授業を学年間で偏りなく行うため。